

令和 元 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート
(平成 30 年度の実績評価)

作成日 令和 元 年 6 月 28 日
更新日 令和 年 月 日

総合計画体系	政策No.	1	政策名	安全でみどり豊かな人がつながるまちの形成	施策主管課	市民部 市民活動支援課
	施策No.	2	施策名	市民参加のまちづくり	施策主管課長名	長谷部 寿仁
施策関連課名				秘書課、政策推進課、生涯学習課		

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
市民 外国人	市民が自主的にまちづくりに参加・参画するようになる。
対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	
① 対象指標	ア 市人口	人	見込み値			72,322	72,001	71,680	71,359	71,038	
			実績値	72,963	72,715	72,305	72,018	71,880	71,602		
	イ 外国人人口	人	見込み値			790	742	694	646	598	
			実績値	884	890	870	910	952	1,007		
	ウ		見込み値								
			実績値								
② まちづくり指標	A 「協働」や「協働のまちづくり」について知っている と回答した市民の割合	%	目標値			15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	
			実績値	10.7	23.5	21.3	18.6	21.6	12.5		
	B 職場や地域で男女差を感じている市民の割合	%	目標値			19.0	18.0	17.0	16.0	15.0	
			実績値	20.7	25.8	27.5	23.5	25.1	26.5		
	C 審議会等における女性委員の比率	%	目標値			38.4	38.8	39.2	39.6	40.0	
			実績値	36.8	35.3	34.3	34.3	36.1	36.2		
	D 日本語教室への参加者数	人	目標値			32	34	36	38	40	
			実績値	32	23	30	38	38	39		
	E		目標値								
			実績値								
まちづくり指標設定の考え方			A: 協働のまちづくりの認知度を示す。 【市民アンケートの「「協働」や「協働のまちづくり」の意味をご存知ですか】において、「知っている」と回答した人の割合】 B: 男女共同参画意識の浸透度を示す。 【市民アンケートの「職場や地域で男女差別を感じていますか】において、「感じる」「まあまあ感じる」と回答した人の割合】 C: 市政への女性の参画状況を示す。 【「法律・条例等により設置されている審議会等一覧」の委員数のうち、女性委員の割合】 D: 外国人との共生に関する成果を示す。 【日本語教室に参加した外国人の参加実人数】								
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方)			A: H26市民アンケートで「聞いたことがある」と回答した26.9%を、協働事業推進により「知っている」と回答してもらえるように取り組みを強化し、5年間で約25%の増加を見込む。 B: 家庭・地域・職場での男女共同参画を推進し、5年間で約5%の減少を見込む。 C: 「南アルプス市審議会等の委員への女性委員登用に関する指針」に基づき、男女ほぼ同数の構成(45%)を目指して目標値を設定。 D: 日本語の学習だけでなく相談機能の強化により、5年間で約10人の参加者の増加を見込む								

3 予算等の推移

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
関連事業本数	41	42	40	40	35	32	32
関連事業予算額(単位:千円)	88,408	91,083	57,950	71,887	226,979	325,654	442,998
(予算額の内訳)	国庫支出金	0	0	0	0	0	30
	県支出金	35,273	35,982	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2,558	7,976	5,874	8,033	7,733	16,721
	一般財源	50,577	47,125	52,076	63,854	219,246	318,321

4 評価結果(施策の有効性評価)

① 目標達成度評価 (目標値と実績値との比較)	
<input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった	※左記の理由 4指標中目標値を上回った実績値が2つ、目標値を下回った実績値が2つとなった。「協働や協働のまちづくりについて知っている」は30年度9%も減少してしまった。市民にはなかなか周知が進まない結果となってしまっている。
② 時系列比較(基本計画現況値からの推移)	
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	※左記の理由 基本計画現況値と比較すると横ばいから若干の上向きに推移してきたが、「協働や協働のまちづくりについて知っている」だけが今回指標が下がってしまった。
③ 他自治体との成果実績値の比較	
<input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である	※左記の理由 審議会等への女性委員の登用状況は、近隣市では甲斐市が23.7%、韮崎市が30.9%、中央市が24.7%となっているが、本市は36.2%と近隣と比較すると高い数値となっている。また、職場や地域における男女差を感じる割合は、26.5%で、横ばいである。

5 まとめ(課題の抽出と解決の方向性)

施策の課題 (現状の問題点)	課題解決の方向性
○地域などにおいて、男女共同参画の意識の醸成がなかなか進まない。 ○女性が社会参加しやすい環境が整っていない。	○ハーモニープランにある41の数値目標に基づき、その目標達成に向け推進会議で実情にあった取り組みを行う。 ○ハーモニープラン推進会議委員を中心に人材育成を行う。 ○市民への意識啓発が重要である。性別に関わらず一人ひとりに、男女共同参画について考えてもらえるように、取組みを市ホームページやフェイスブック等で発信していく。
○「協働」という言葉の意味や協働のまちづくりの認識、理解がなかなか進まない。	○平成30年度に作成した「まちづくりブック」を新聞や市ホームページ等で掲載し、広く市民へ周知を図るとともに、市民活動センターと連携し、協働を知ってもらう取組みを実施する。 ○市民活動センターを中心に実施している市民活動フェスタや協働フォーラム等で啓発に努め、市民活動に参加しやすい環境づくりに努める。 ○市民活動団体の育成のため、「協働支援テーマ型活動助成事業」を実施し、多くの団体に参加してもらえるように努める。 ○職員研修を実施し協働についての理解を深める。